

クリーンフーズシリーズ

クリーンルーム用

品番 NFMG41777

・器具の取り付けには電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

施工説明

工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。

安全に関するご注意

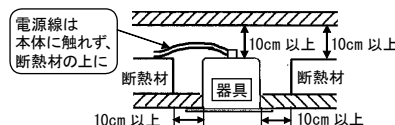
⚠ 危険

- 断熱材、防音材をかぶせた状態で使用しない。
火災の原因となります。

・住宅の断熱施工天井には、使用できません。

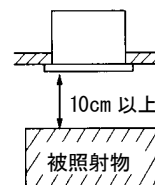


器具は、断熱材・防音材・造営材等と下図のような空間を設けて施工してください。



⚠ 警告

- 施工は、取扱説明書にしたがい確実に行う。
施工に不備があると火災・感電・落下・ホコリの浸入の原因となります。
- 器具の改造および構成部品（ソケットなど）の交換はしない。
火災・感電・落下・ホコリの浸入の原因となります。
- 器具の取り付け部以外の本体外郭が、天井内の造営物やダクト、電気配線等の設備に触れないように施工する。
火災の原因となります。
- 水平天井埋込専用です。壁取り付けや天井直づけ及び傾斜天井への取り付けはしない。
火災・落下の原因となります。
- 必ず表示された定格電圧（100～242V）± 6%の電源電圧で使用する。
火災・感電の原因となります。
- 器具と被照射面は10cm以上離す。
被照射物の火災・変色の原因となります。
- 天井部に凹凸がある場合は、取り付け部と本体パッキンのすき間を埋める。
火災・感電・落下・サビ・ホコリの浸入の原因となります。



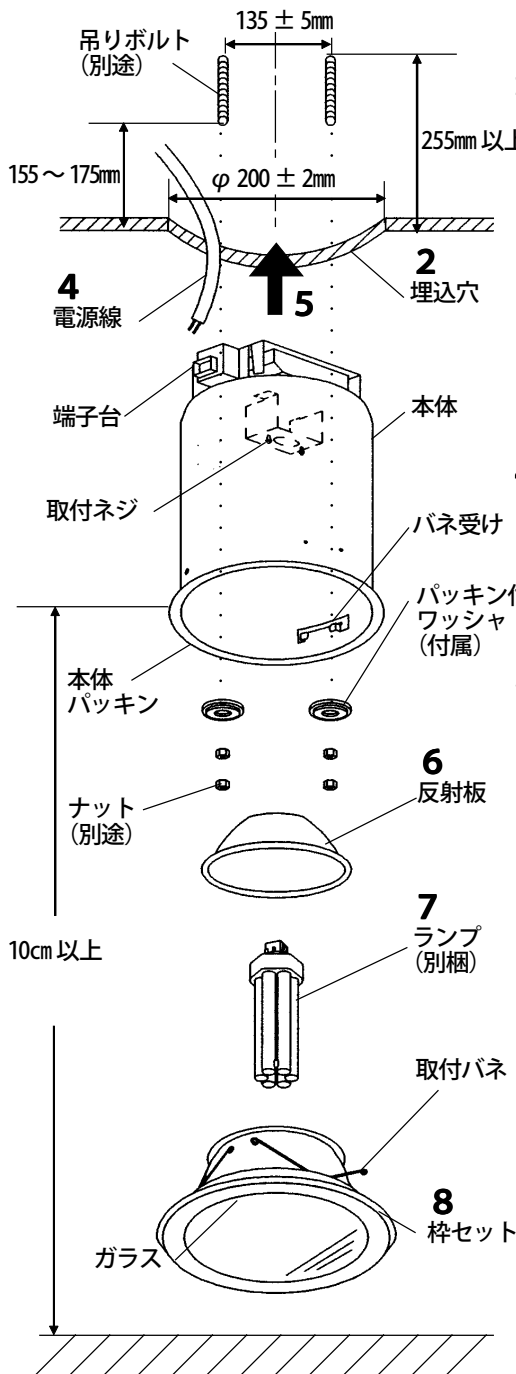
⚠ 注意

- 一般屋内用器具です。直射日光の当たる場所、天井内に湿気のある場所、水気の多い場所、腐食性のガスの発生する場所では使用しない。天井裏は常温常湿で使用する。
火災・感電・落下・サビの原因となります。
- 軒下、屋側通路等の雨の吹き込みを受ける場所で使用しない。
火災・感電・落下・サビの原因となります。
- 周囲温度は、5～35℃以外では使用しない。
火災またはランプ短寿命の原因となります。
- 振動のある場所では使用しない。
火災・感電・落下・取り付け面のスキマおよび変形の原因となります。
- ライトコントロール、明暗スイッチなどと併用して使用しない。火災の原因になります。

施工上のご注意

- 取り付け面がクロス貼りの場合、接着剤が十分に乾燥してから器具を取りつけてください。
サビや変色の原因となります。

各部のなまえと取り付け方

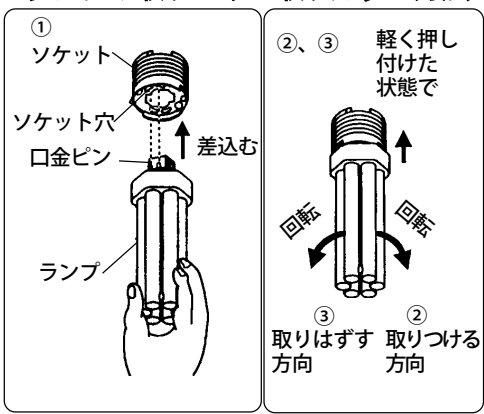


これは一部簡略化した図です。



警告 照射物・照射面との距離は10cm以上離す。
被照射物の火災・変色の原因となります。

ランプの取り付け・取りはずし方法



1. 取り付け前の確認をする

- 器具質量（約2.4kg）に十分耐えるよう、取付部の強度を確保する。
不備がありますと器具落下の原因となります。

2. 天井にφ200±2mmの埋込穴をあける

- 天井部に凹凸がある場合は、取付部と本体パッキンのすき間を埋める。
不備がありますと火災・感電・落下・サビ・ホコリの浸入の原因となります。

3. 枠セット・反射板を取りはずす

- 枠セットを引き下げる。
- 枠セットを引き下げる際は、本体パッキンをキズつけないようにしてください。ドライバー等で枠セットをこじ開けないでください。
火災・感電・落下・サビ・ホコリの浸入の原因となります。
- 取付けバネを押し縮めてツメ部からはずす。
- 反射板は工具（ドライバー）にて取付ネジを少しゆるめてダレマ穴から取りはずす。

4. 電源線を端子台に接続する

- 電源線、アース線を端子台の差し込み穴の奥まで確実に差し込む。
【D種（第3種）接地工事が必要】
- 端子台の送り容量は15Aです。
接続が不完全な場合、容量オーバーした場合、火災の原因となります。

5. 器具を取りつける

- 本体に吊りボルトを通し、本体内側より吊りボルトへ付属のパッキン付ワッシャ（2ヶ）をバッキン側が本体天面側にくるように挿入後、ナットをWナット方式でゆるまないように確実に取りつける。
この時、本体とパッキン付ワッシャの間にすき間がないようにする。
器具内にホコリが浸入するおそれがあります。（吊りボルトはW3/8又はM10を使用する。）
本体天面のボルト穴に吊りボルトが通りにくい場合は、器具取付工具（別途）をお使いください。
（参考：ネグロス製ライティングガイター）

器具取付工具使用による施工方法

- 吊りボルトに器具取付工具を取りつける。
- 工具のチェーンをボルト穴に通し、ガイドにして本体を押し上げ、吊りボルトに通す。
- 器具取付工具を取りはずし、本体内側より吊りボルトへ付属のパッキン付ワッシャ（2ヶ）をバッキン側が本体天面側にくるように挿入後、ナットをWナット方式でゆるまないように確実に取りつける。
この時、本体とワッシャの間にすき間がないようにする。
器具内にホコリが浸入するおそれがあります。

6. 反射板を取りつける

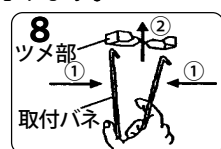
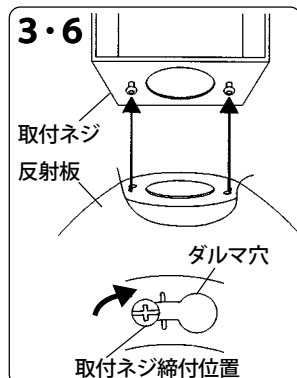
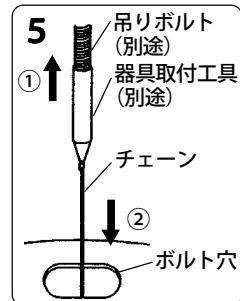
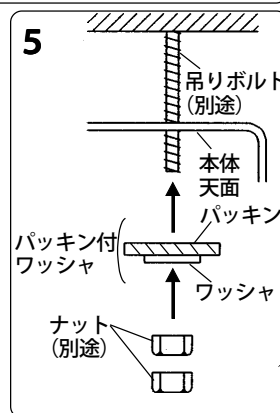
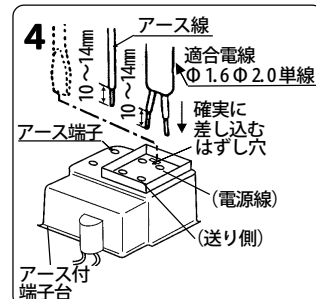
- 反射板のダレマ穴を取付ネジに合わせて挿入し回転させて、工具（ドライバー）にて締めつけて確実に固定する。
不備がありますと落下の原因となります。

7. ランプ（別梱）を確実に取りつける

- ランプの口金ピンをソケット穴に合わせ、奥まで確実に差し込む。
- 軽く押しつけた状態でランプを少し回転させ取りつける。（回転角度約15°）
- 取りはずす場合には、軽く押しつけながら取りつけと逆方向に回転させる。
回転が不十分な場合、落下の原因となります。
ガラス管を強く握らないでください。ガラス破損の原因となります。

8. 枠セットを取りつける

- 取付バネを押し縮め、ツメ部へ引っ掛ける。
- 枠を静かに最後まで押し上げる。
不備がありますと落下の原因となります。
- 枠と本体パッキンにすき間がない事を確認する。
不備がありますと火災・感電・落下・ホコリの浸入の原因となります。

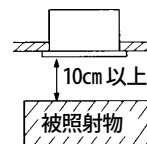


ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みの上、正しくお使いください。

安全に関するご注意

⚠ 警告

- 器具の改造および構成部品（ソケットなど）の交換はしない。
火災・感電・落下・ホコリの浸入の原因となります。
- 器具に直接水をかけない。火災・感電・落下・サビの原因となります。
- 布や紙など燃えやすいもので覆ったり、かぶせたりしない。火災の原因となります。
- 器具と被照射物の距離は、10 cm 以上離す。被照射物の火災、変色の原因となります。
- 異常を感じたら速やかに電源を切り、販売店・工事店に相談する。火災・感電の原因となります。



⚠ 注意

- 器具の下に温度の高くなる物（ストーブ・ガスレンジ等）や湿気を発生させる物を置かない。火災の原因となります。
- ランプ交換の際には、器具表示及び取扱説明書にしたがって、指定されたランプを使用する。
指定以外のランプを使用すると、火災やランプ破損の原因となります。
- 照明器具には寿命があります。設置して10年経つと、^{*}外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。
点検・交換してください。
※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯です。
 - ・周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合などは寿命が短くなります。
 - ・1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。3年に1回は工事店等の専門家による点検をお受けください。点検せずに長期間使い続けるとまれに火災・感電・落下などに至る場合があります。

使用上のご注意

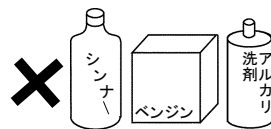
- ラジオ、テレビや赤外線リモコン方式の機器は照明器具から離してご使用ください。
雑音が入ったり正常に動作しない場合があります。
- 同時通訳機等の誘導無線をご使用になられる場合、雑音が入る場合があります。
事前に確認し、対策を講じてください。
- クリーンルームのクラス1000～100000にオススメです。
- シンナー・ベンジン・アルカリ系洗剤は使用しないでください。変色・変質・強度低下による破損の原因となります。

保証について

- 保証について
この商品の保証期間は1年間です。但し、蛍光灯器具・HID器具の安定器・LED電源は3年間です。
ランプ・グロー点灯管・電池などの消耗品は除きます。
詳細は弊社カタログを参照ください。
- 保証書について
保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。
- 補修用性能部品の保有期間
弊社はこの照明器具の補修用性能部品（電気部品）を製造打ち切り後、6年間保有しています。
補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。

<器具の清掃について>

- ・ 器具に直接水をかけないでください。
火災・感電・落下・サビの原因となります。
- ・ ガラス表面にテフロン樹脂をコーティングしてあります。
硬い布やタワシなどでこすったり、硬い凹凸のある面などに置いたりしないでください。
不備がありますとガラス表面に傷がつき、破損時の飛散防止効果が
損なわれる原因となります。
- ・ 水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。



シンナー・ベンジン・アルカリ系洗剤で拭かないでください。
変色・変質・強度低下による破損の原因となります。

<ランプ交換について>

- ・ 器具表示にしたがって、下記の指定されたランプを使用してください。

推奨ランプ

24形コンパクト形蛍光灯（パナソニック製・OSRAM製）FHT24
32形コンパクト形蛍光灯（パナソニック製・OSRAM製）FHT32
42形コンパクト形蛍光灯（パナソニック製・OSRAM製）FHT42

⚠ 注意

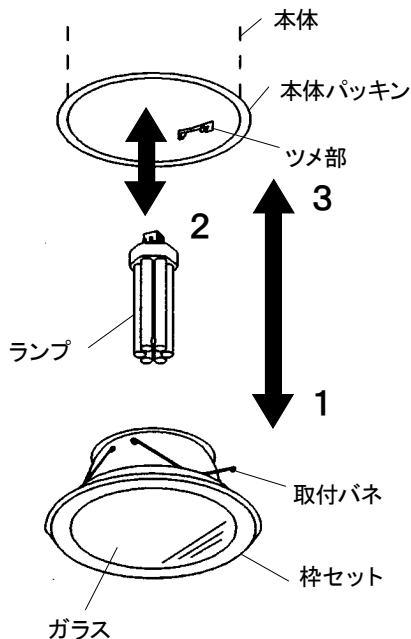
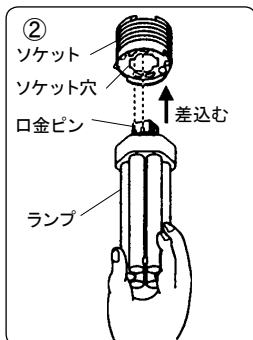
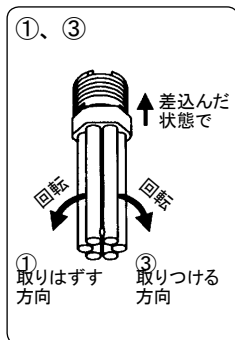
- ・ 点灯中や消灯直後はランプやその周りをさわらないこと。
やけどの原因となります。
- ・ ランプを確実に取りつける。
落下の原因となります。
- ・ ガラス管を強くねじらない。
割れる恐れがあります。

1. 枠セットの取りはずし方法

- ① 枠セットを引き下げる。
枠セットを引き下げる際は、本体パッキンを
キズつけないようにしてください。
不備がありますと火災・感電・落下・ホコリの浸入の原因となります。
- ② 取付バネを押し縮めてツメ部からはずす。

2. ランプの取り付け・取りはずし方法

- ① ソケットに取り付いた状態のままランプを
少し回転させ取りはずす。（回転角度約15°）
- ② ランプの口金ピンをソケット穴に合わせ、
奥まで確実に差込む。
- ③ 取りつける場合には、差込んだ状態で
取りはずしと逆方向に回転させる。
すべりやすい手袋はご使用にならないでください。
ゴム手袋のご使用をおすすめします。



3. 枠の取り付け方法

- ① 取付バネを押し縮め、ツメ部へ引っ掛ける。
- ② 枠を静かに最後まで押し上げる。
不備がありますと落下の原因となります。
- ③ 枠と本体パッキンにすき間がない事を確認する。
不備がありますと
火災・感電・落下・ホコリの浸入の原因となります。

